

鞆町のまちづくりに係る 事業説明会資料

令和4年4月30日
広島県東部建設事務所
福山市 建設局

目次

I 鞆町における県及び市の主な建設事業について

- 1 山側トンネル及び関連事業
- 2 東西交通・交流拠点
- 3 高潮対策
- 4 町中の交通処理対策 他
- 5 砂防事業 他

II 鞆・一口町方衆について

III 関連する取組について

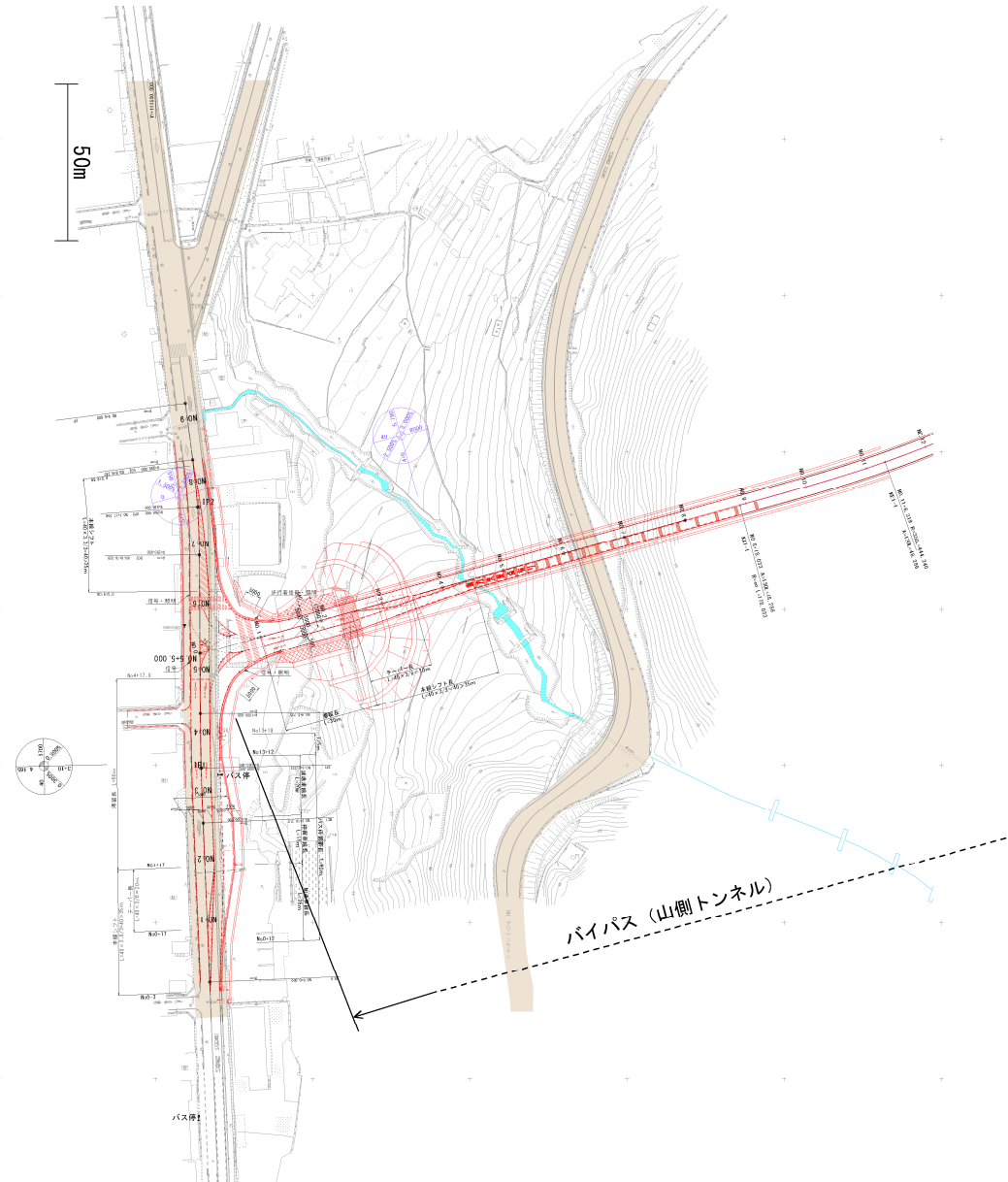
- 1 山側トンネルの名称募集
- 2 むろのき通信

I -1. 山側トンネル及び関連事業[バイパス, 接続道路, アクセス市道]



I-1. 山側トンネル及び関連事業[バイパスルートの図面]

東側詳細図



I -1. 山側トンネル及び関連事業[バイパスルートの図面]

西側詳細図



I -1. 山側トンネル及び関連事業[東側完成イメージ図]



I -1. 山側トンネル及び関連事業[西側完成イメージ図]



I -1. 山側トンネル及び関連事業[西側完成イメージ図]



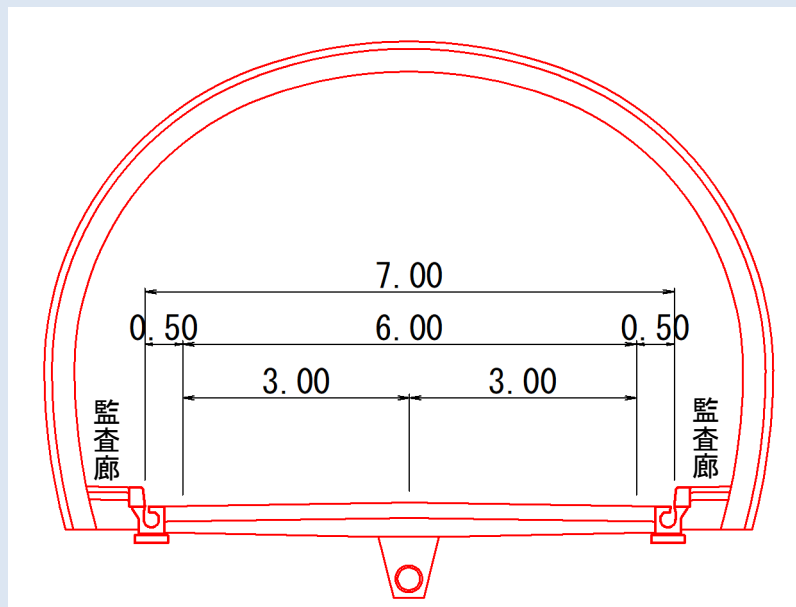
I -1. 山側トンネル及び関連事業[西側完成イメージ図(アクセス市道)]



(1). バイパス(山側トンネル)の概要

- 道路構造等 : 第3種第3級, 設計速度40km/h
- : 延長L=約2.30km(うちトンネル延長L=約2.11km)
- : 幅員W=7.0m(車道6.0m+路肩1.0m)
- : 縦断勾配3%以下
- : 曲線半径60m以上(トンネル内は300m以上)

【 標準横断図 】



(2). バイパスへの接続道路及び平地区アクセス市道の概要

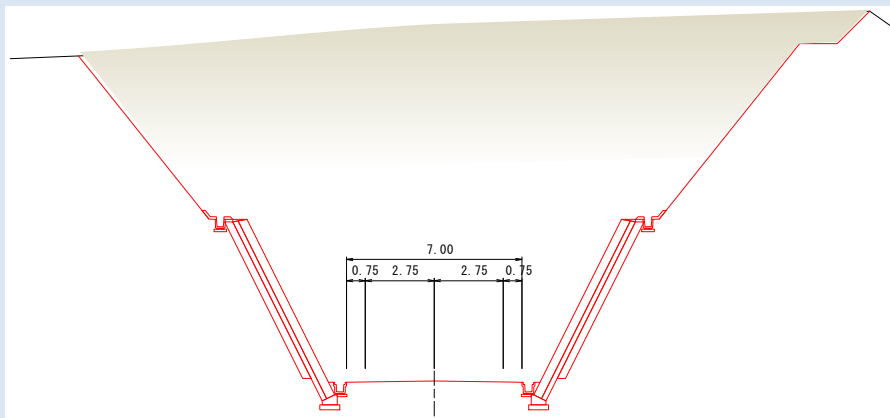
○バイパスへの接続道路の道路構造等

: 延長L = 約220m

: 幅員W = 7.0m

(車道5.5m + 路肩1.5m)

【標準横断図】



[凡例]

赤色: 計画

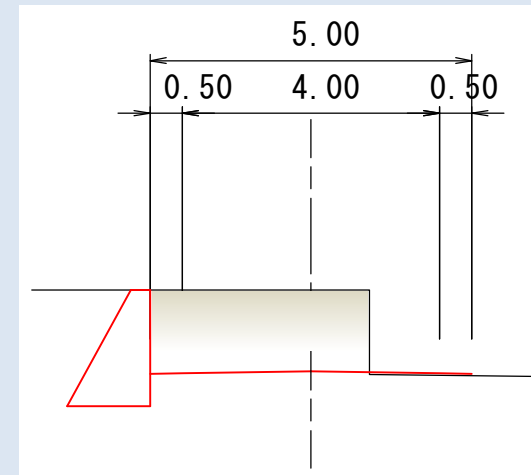
○平地区アクセス市道の道路構造等

: 延長L = 約250m

: 幅員W = 5.0m

(車道4.0m + 路肩1.0m)

【標準横断図】



[凡例]

赤色: 計画

(3). 施工計画・土砂運搬等について

- トンネル工事は、早期完成に向けて東側、西側の両側坑口から掘削を行います。
- 昼夜施工を基本とし、発破期間は概ね1.5年程度を想定しています。
- 施工にあたっては、坑口部周辺などで騒音等の状況を確認しながら行います。

【東側の施工計画等】

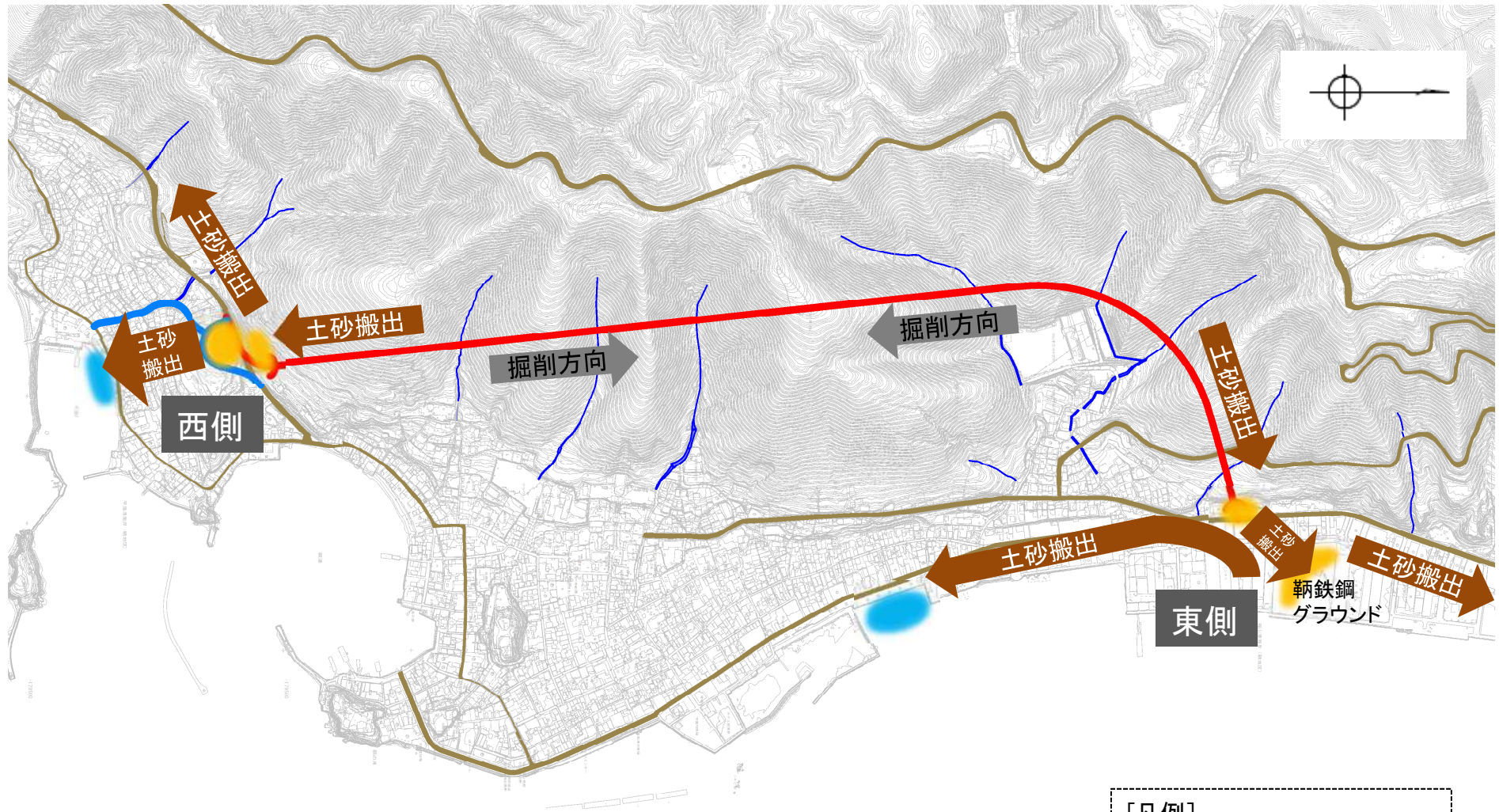
- トンネル掘削土砂は、東側の交通・交流拠点整備に利用するとともに、他の公共工事等へ利用します。
- 工事に必要な仮設備等を設置するスペースは、坑口周辺及び靱鉄鋼グラウンドの一部を利用します。

【西側の施工計画等】

- トンネル掘削土砂は、西側の交通・交流拠点((仮称)靱町平地区ふれあい広場)整備に利用するとともに、他の公共工事等へ利用します。
- 西側の土砂運搬等の工事車両の通行により、周辺地区への影響が懸念されるため、アクセス市道を工事用道路又は工事中の迂回路として活用できるように整備します。
- なお、アクセス市道の整備にあたって付け替える清水川の管渠部の入口には、倒木やゴミなどの流入防止を目的として、スクリーンを設置します。
- 工事に必要な仮設備等を設置するスペースは、坑口周辺及びバイパス接続道路によって囲まれる土地(西側②拠点)を利用します。

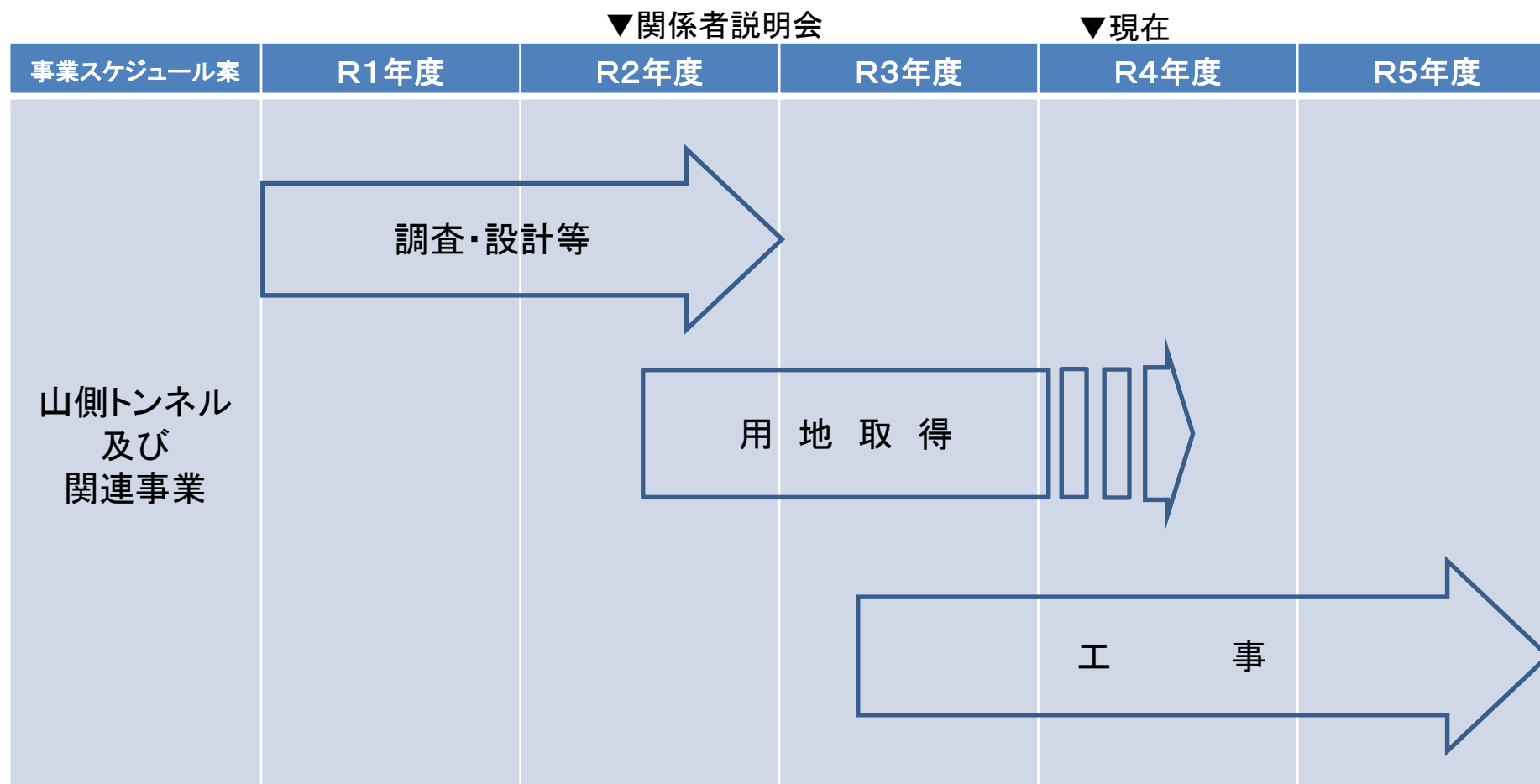
(3). 施工計画・土砂等運搬について

【施工計画・土砂等運搬のイメージ図】



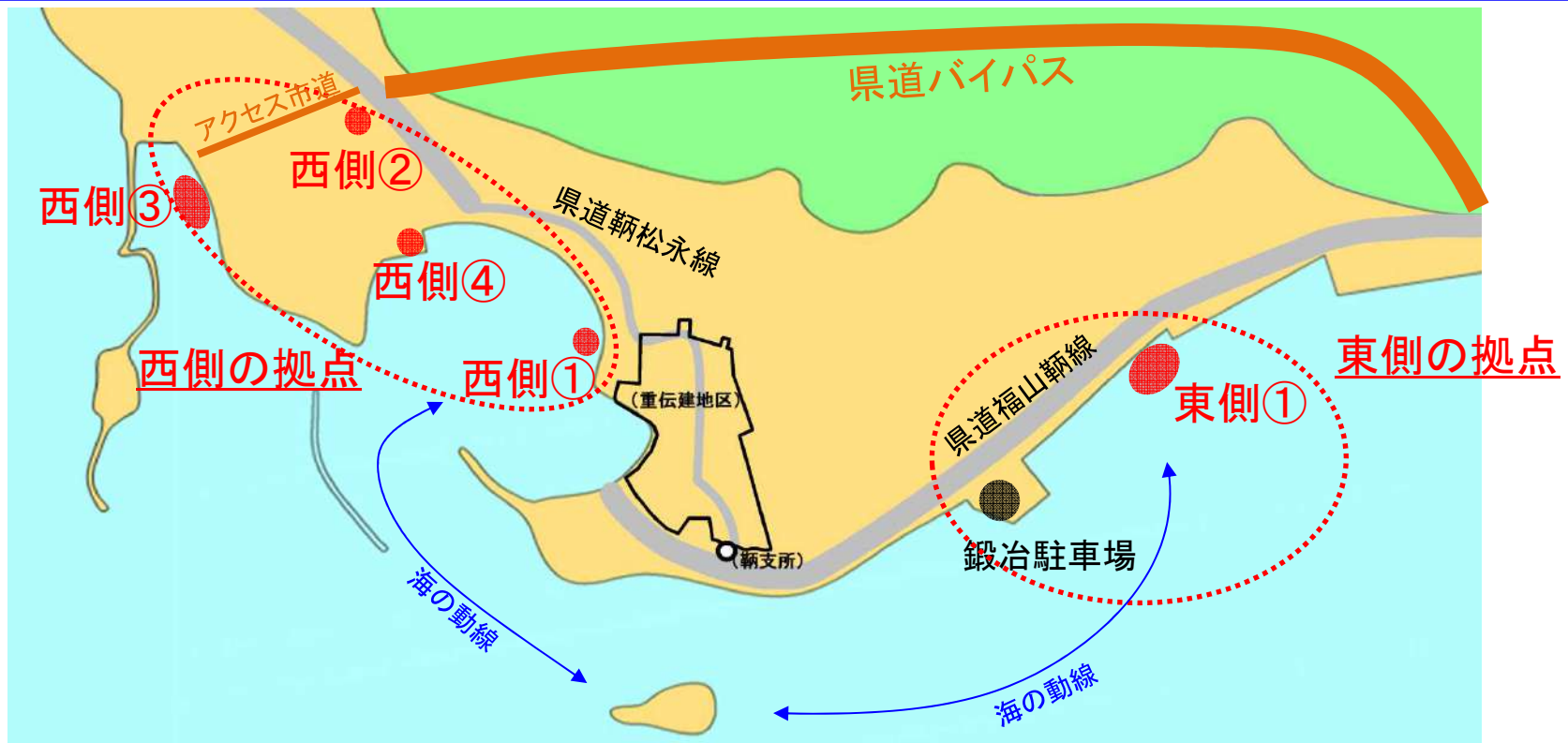
[凡例]
橙色: 仮設備等設置スペース

(4). スケジュールについて



I-2. 東西交通・交流拠点

- 東側, 西側の交通・交流拠点機能を強化することで, 観光交通等の町中への流入を抑制し, 県道の渋滞緩和を図ります。
- 東側の交通・交流拠点は, バスやグリーンスローモビリティ及び観光渡船などの発着地点としての機能とともに, にぎわい拠点や防災拠点として活用が図れるよう, 福山市のまちづくりとの連携を図ります。なお, 計画にあたっては, 漁業関係者や地元の皆様方のご意見をお聞きしながら検討してまいります。
- 西側の交通・交流拠点は, バイパス, アクセス市道, 観光渡船の発着場及びふれあい広場などの整備と併せて, 引き続き, 地元の皆様方のご意見をお聞きしながら検討してまいります。

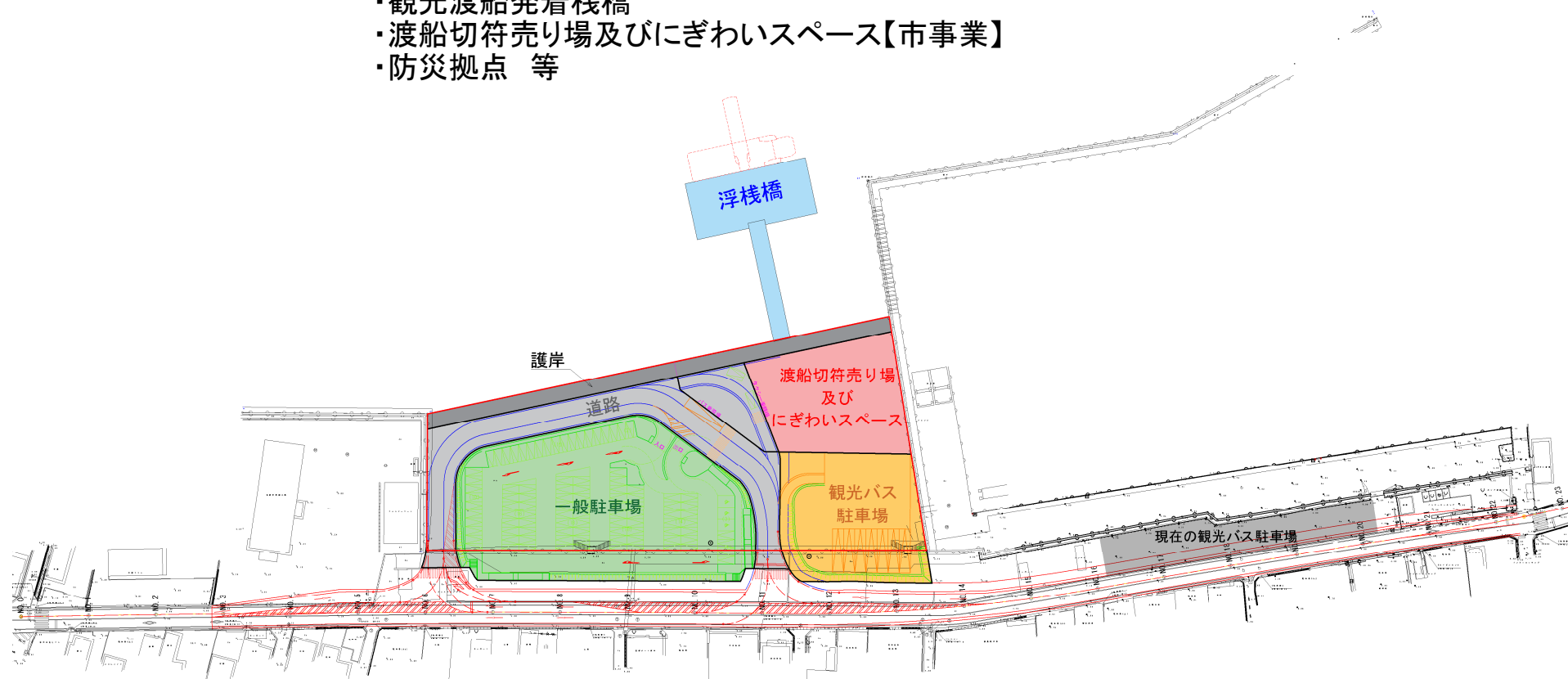


I -2. 東西交通・交流拠点[東側①]拠点の概要

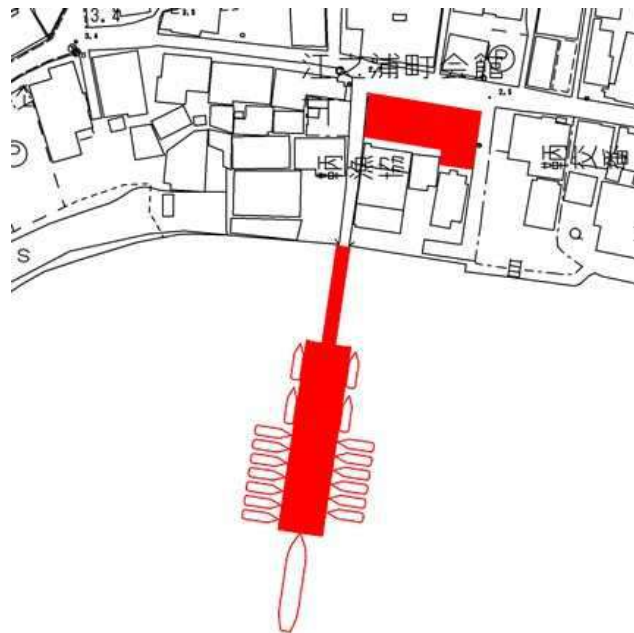
機能:

- ・駐車場
- ・バス停車帯
- ・多目的スペース(臨時駐車場等)
- ・観光バス駐車場
- ・観光渡船発着棧橋
- ・渡船切符売り場及びにぎわいスペース【市事業】
- ・防災拠点 等

規模:埋立面積 概ね8,200㎡
全体面積 概ね9,400㎡



I -2. 東西交通・交流拠点[西側①拠点の概要]



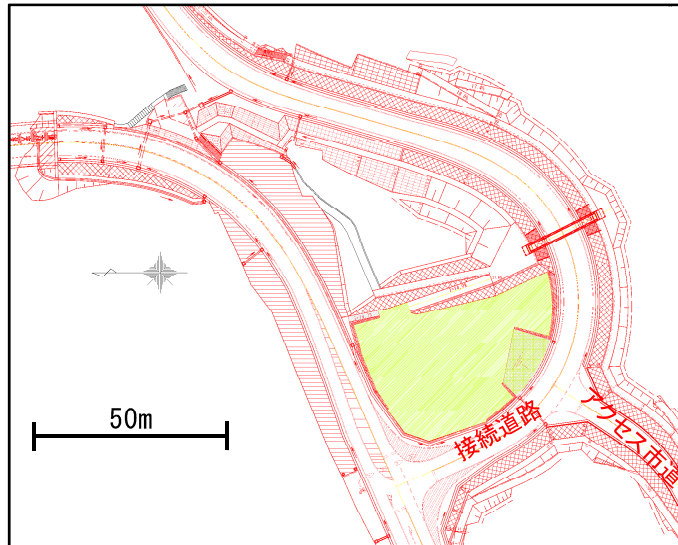
西側①拠点

機能及び施設:

- ・漁船等利用棧橋
- ・観光渡船発着棧橋
- ・ビジター利用棧橋
- ・渡船切符売り場及びトイレ等(鞆交番西隣)【市事業】等

※機能に必要な規模算定や詳細な配置検討等により決定します。

I-2. 交通・交流拠点〔西側②・③拠点の概要〕



西側②拠点（接続道路に囲まれた土地を活用）

機能:

・防災拠点 等

※トンネル工事期間中は、工事に必要な仮設備等を設置するスペースとして利用します。

規模: 概ね1,500m²

※機能に必要な面積算定や詳細な配置検討等により今後変更となる場合があります。



西側③拠点（(仮称)鞆町平地区ふれあい広場）
【市事業】

機能:

・防災拠点

・ふれあい広場機能 等

規模: 埋立面積 概ね3,200m²
広場面積 概ね2,600m²

※機能に必要な面積算定や詳細な配置検討等により今後変更となる場合があります。

西側④拠点 検討中

※活用方法・あり方等について、地元及び利用者等と協議しながら検討してまいります。

I -2. 交通・交流拠点[スケジュール]

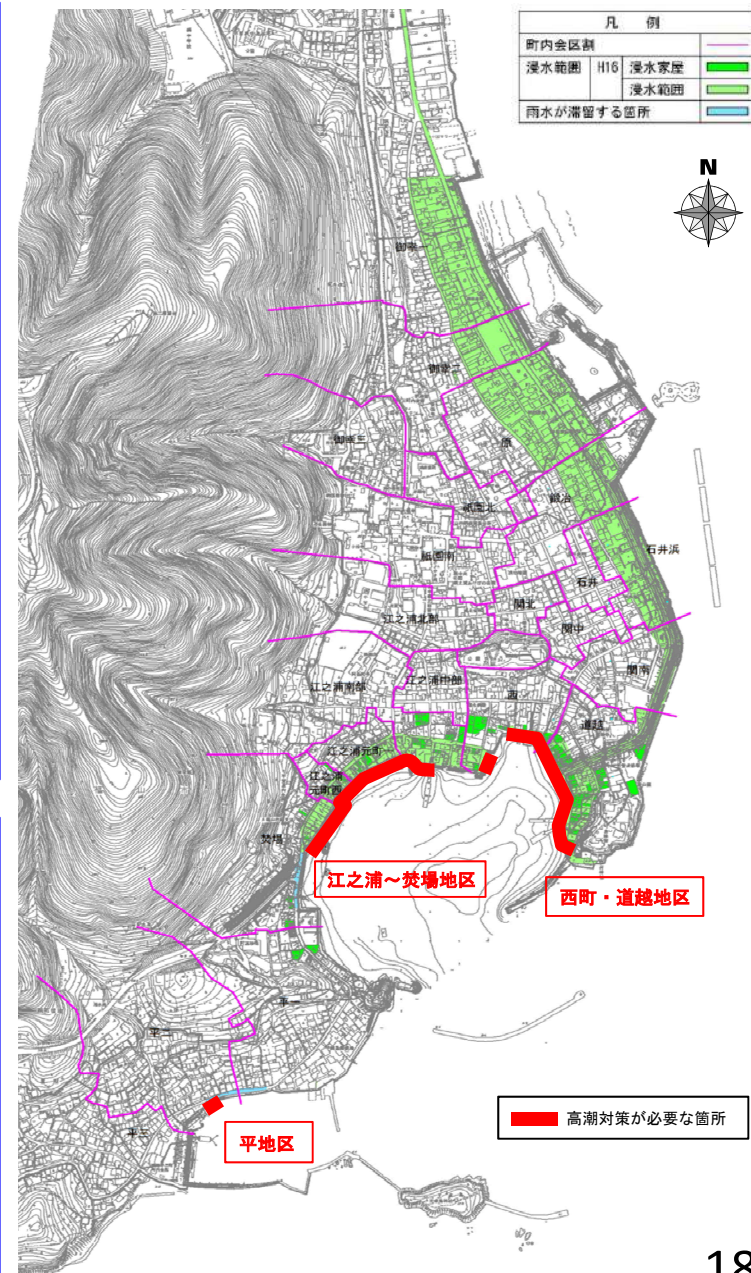
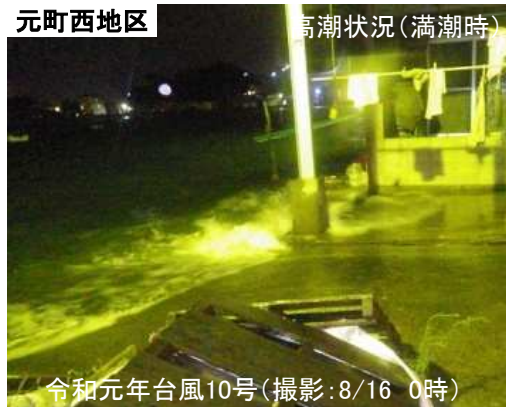
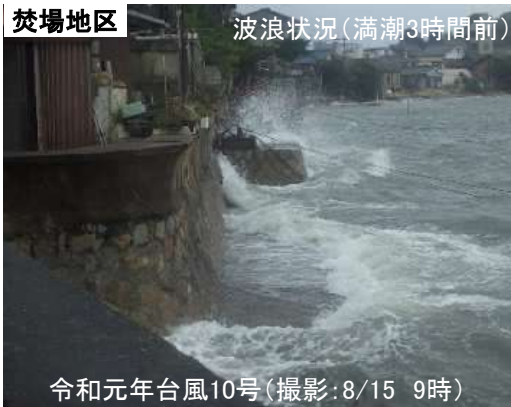


事業スケジュール案	R3年度	R4年度	R5年度以降
東側①拠点	調査・設計	護岸・埋立工事 渡船切符売り場等 事業手法検討	調査・設計 施設整備
西側①拠点	調査・設計	浮棧橋設置工事 渡船切符売り場等 事業手法検討	調査・設計 施設整備
西側②拠点		活用方法の検討	
西側③拠点	調査・設計	護岸・埋立工事	施設整備
西側④拠点		活用方法の検討	

I-3. 高潮対策

- 鞆町内は、過去に発生した台風等により、度重なる浸水被害を受けており、高潮や津波から防護するための必要な高さが不足している部分や老朽化が進んでいる箇所が多数あり、高潮時に土嚢を設置して対応している所がある状況です。
- このようなことから、高潮対策は、喫緊の課題であると認識しており、護岸整備などの高潮対策を行い、浸水被害を防止することとしており、必要高の不足や施設の老朽化の進行している西町・道越地区及び江之浦～焚場地区において、現在工事を進めております。
- 平地区においては、西側③拠点((仮称)鞆町平地区ふれあい広場)の整備に合わせて実施します。

防護



I -3. 高潮対策[江之浦～焚場地区]

- 江之浦～焚場地区には、歴史的な施設と考えられる焚場や亀甲状石積、既設護岸などがあり、また古くから港町として栄えた歴史的背景を踏まえた護岸デザインとします。
- 海岸背後にある生命・財産を高潮・津波から防護するために防災上必要な機能を確保しつつ、景観や文化財などの価値保全との調和を図ります。
- 景観や文化財の専門家から意見を伺いながら、具体的な検討を行いました。

歴史的な施設



I-3. 高潮対策[江之浦～焚場地区] 護岸デザイン

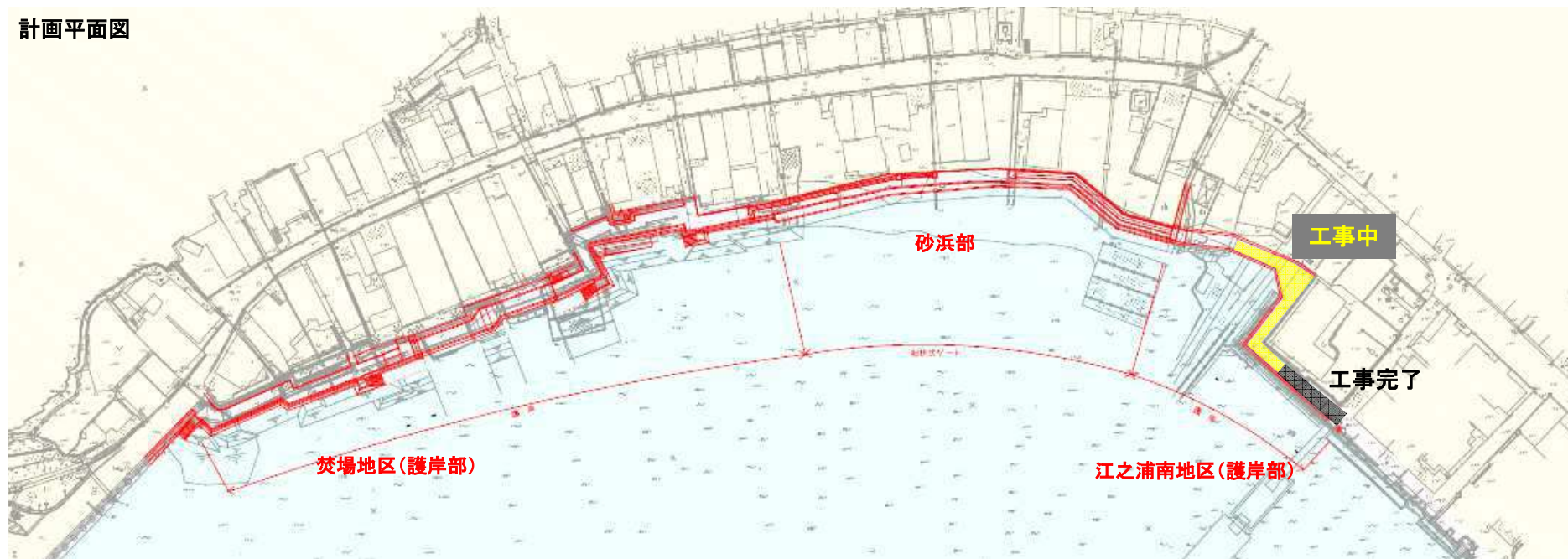
- 焚場や亀甲状石積、既設護岸などの歴史的な施設については、可能な限り保存します。
- 新しい護岸は背後の町並みに調和したものとし、また既設護岸を見えるように保存するため、新しい護岸との間に空間を確保します。
- 砂浜部は、漁業利用や祭事が継続できる機能を確保し、通常時に砂浜の景観を阻害しない起伏式ゲート構造とします。



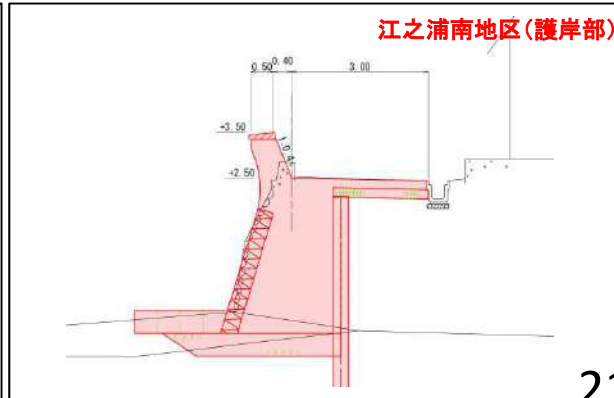
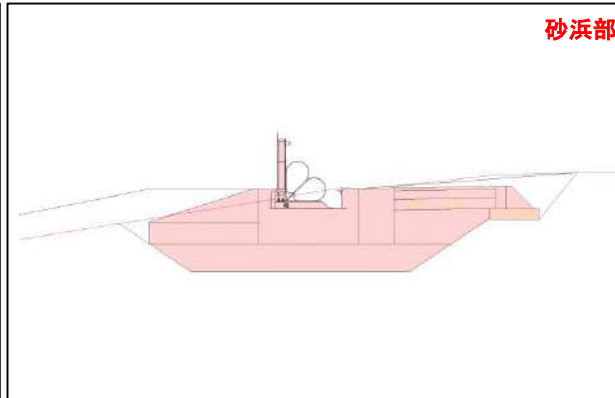
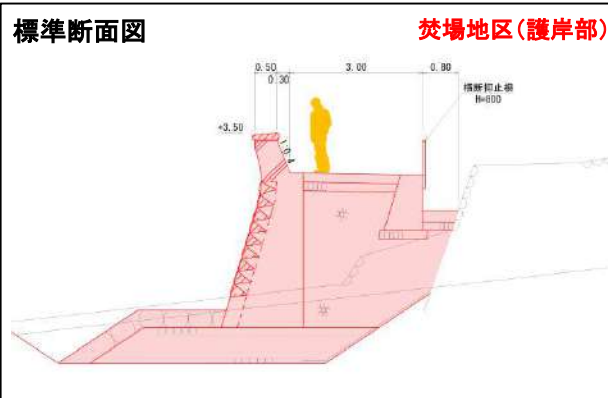
I -3. 高潮対策[江之浦～焚場地区] 護岸設計

- 護岸設計は、背後地を高潮等から守るため、防災上必要な構造とし、護岸デザインを踏まえて、具体的な設計を行いました。

計画平面図



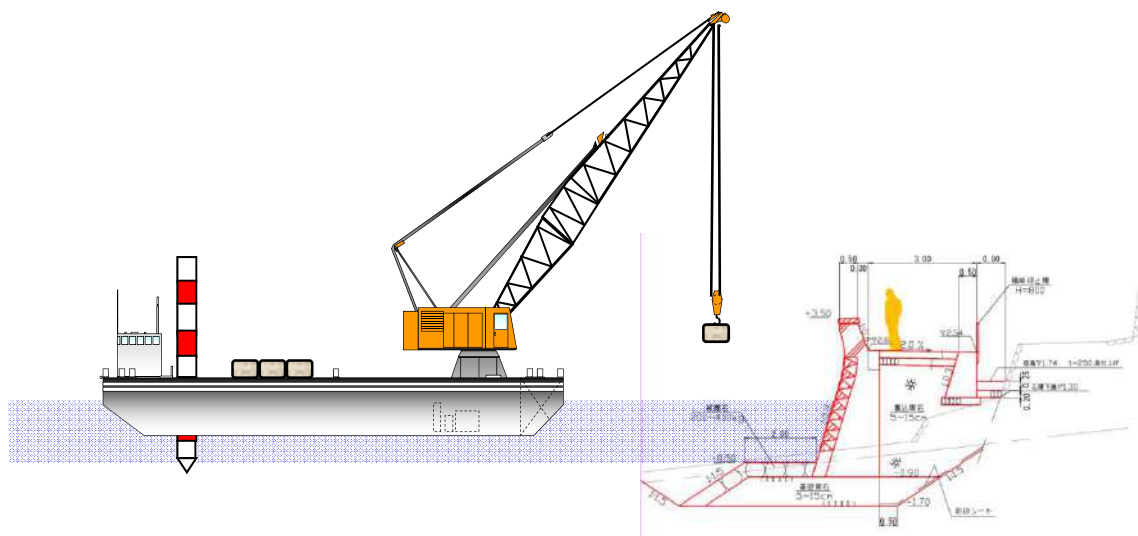
標準断面図



I -3. 高潮対策[江之浦～焚場地区] 施工方法及びスケジュール

- 江之浦～焚場地区は、海岸背後に家屋等が隣接しているため海上作業を基本とし、陸上作業が可能な工事については、海上・陸上作業を併用しながら工事を実施します。
- 工事は、江之浦南地区から実施しています。

施工イメージ図(海上施工)



事業スケジュール案	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度以降
江之浦～焚場地区	景観や歴史的遺構の調査 護岸形状・デザイン案の作成	調査・検討	護岸デザイン・詳細設計		高潮対策工事・発掘調査			

I -3. 高潮対策〔西町・道越地区〕

- 西町・道越地区は、護岸（地盤）の高さが低く、浸水被害の危険性が高い状況であることから、景観や利用状況等を踏まえて、起伏式ゲート、景観配慮型胸壁等で高潮対策工事を進めています。
- また、高潮対策工事に合わせて、崩壊の恐れのある雁木の復元工事も進めています。



西町地区（起伏式ゲート、雁木復元）

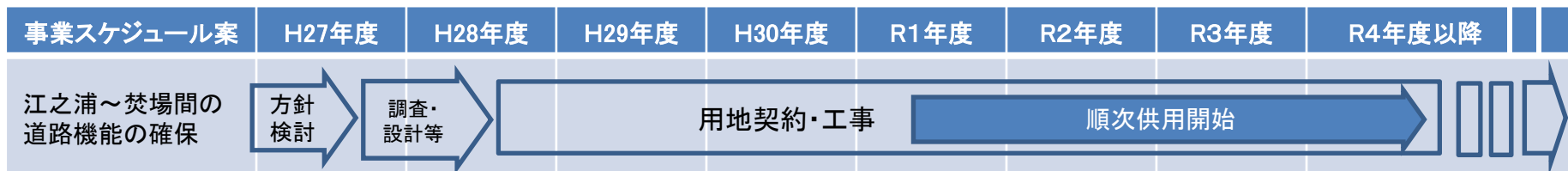
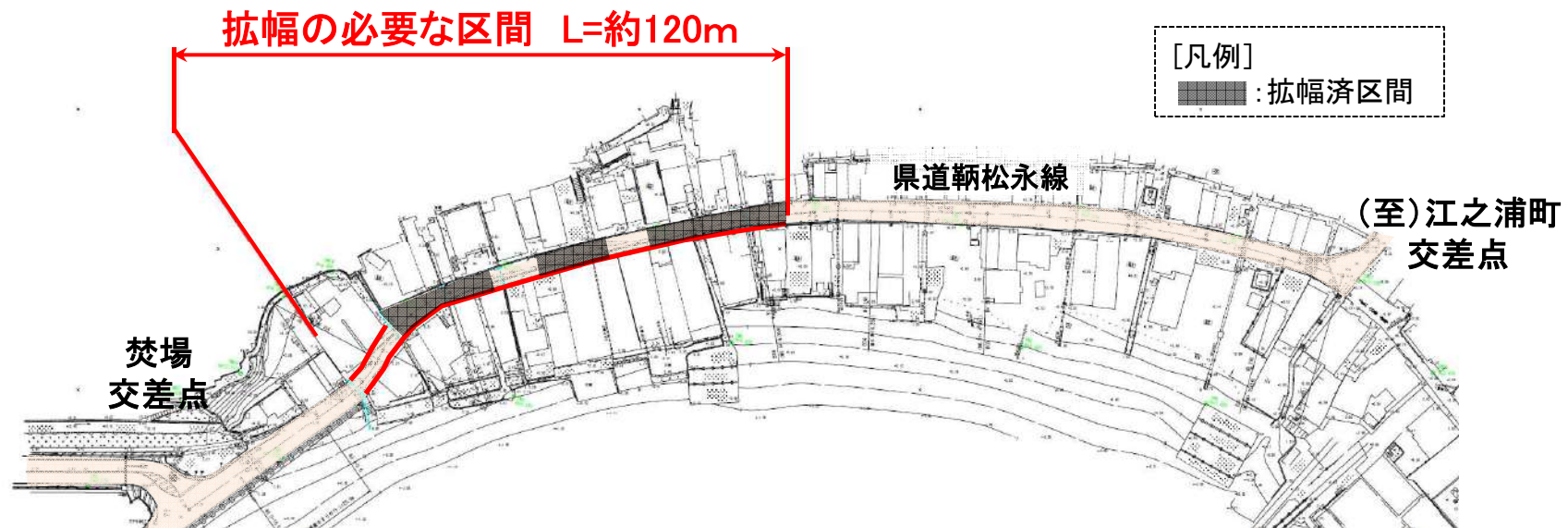


道越地区（景観配慮型胸壁のイメージ）

事業スケジュール案	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度以降
西町・道越地区	文化財協議	雁木復元工事・発掘調査						
		高潮対策工事・発掘調査						

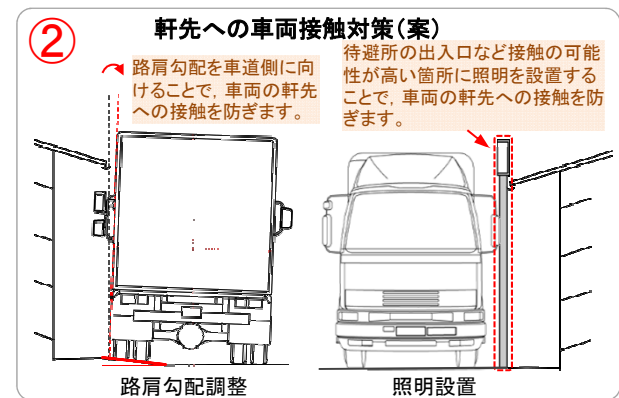
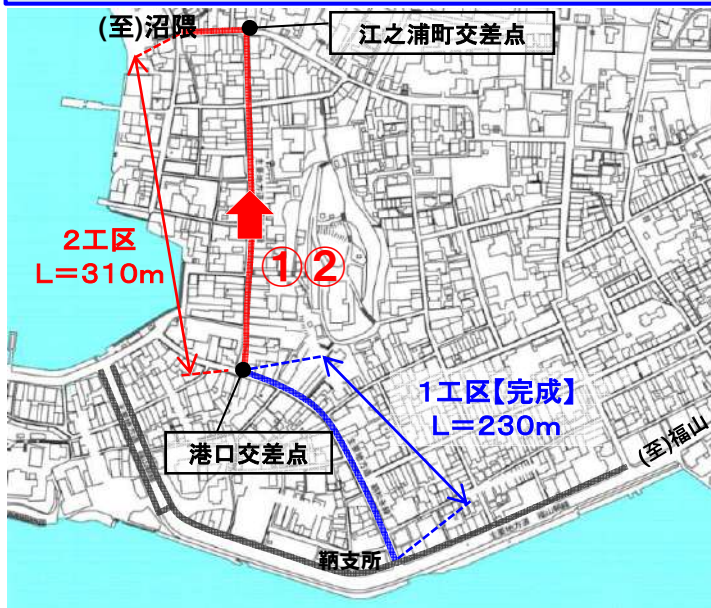
I -4.町中の交通処理対策[江之浦～焚場間の道路機能の確保]

- 車道については、現道約120mの区間を幅員5mへ拡幅し、歩行者や電動シニアカーなどの通行については、高潮対策として整備を行う海岸保全施設の水叩き(兼管理用道路)(幅3m)が活用できます。
- これまでに一部区間において、拡幅工事を実施しました。
- 引き続き、用地交渉を行うとともに、用地が確保された所から工事を行ってまいります。



I -4.町中の交通処理対策[無電柱化]

- 電線を地中に埋設するなど無電柱化を行うことにより、少しでも離合しやすく安全で快適な歩行空間を確保するとともに景観の向上を図っています。
- 1工区については、平成30年度より工事に着手し、地中管路の敷設、電柱撤去、照明の設置を進め、令和3年1月に舗装が完了しました。
- 2工区については、下水道の整備も踏まえた地中管路の設計や施工方法及び軒先への車両接触対策の検討を行っており、今後、関係者や地元の皆様と協議をしながら、着手の時期等について検討します。
- また、周辺道路の無電柱化についても、福山市など関係機関と調整しながら、検討します。

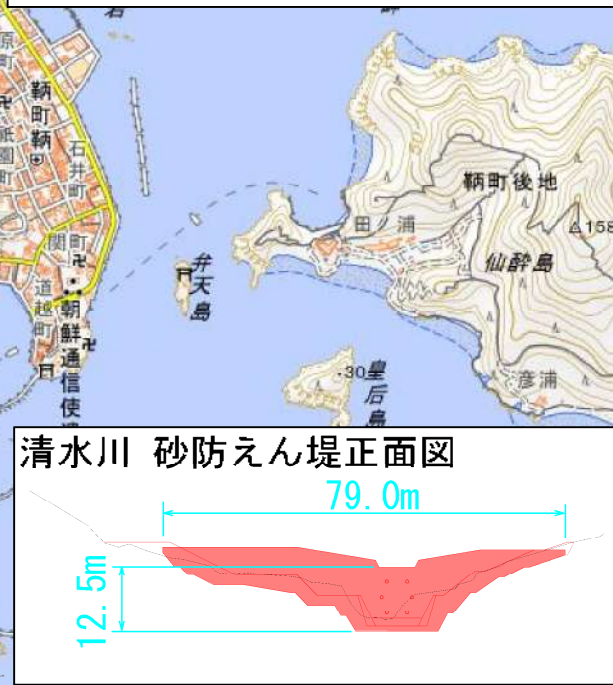
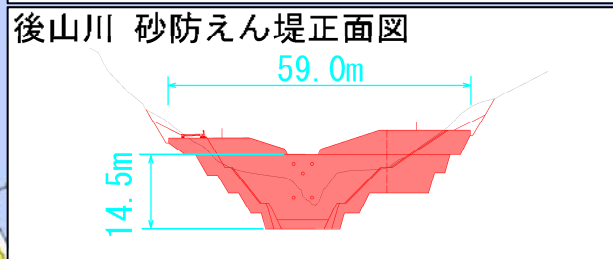
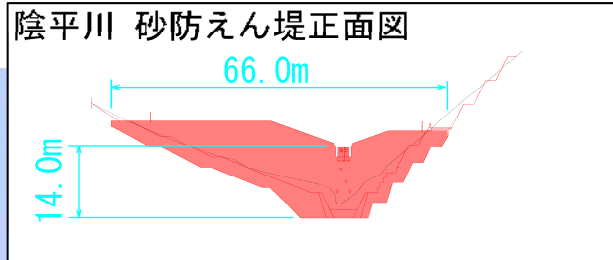
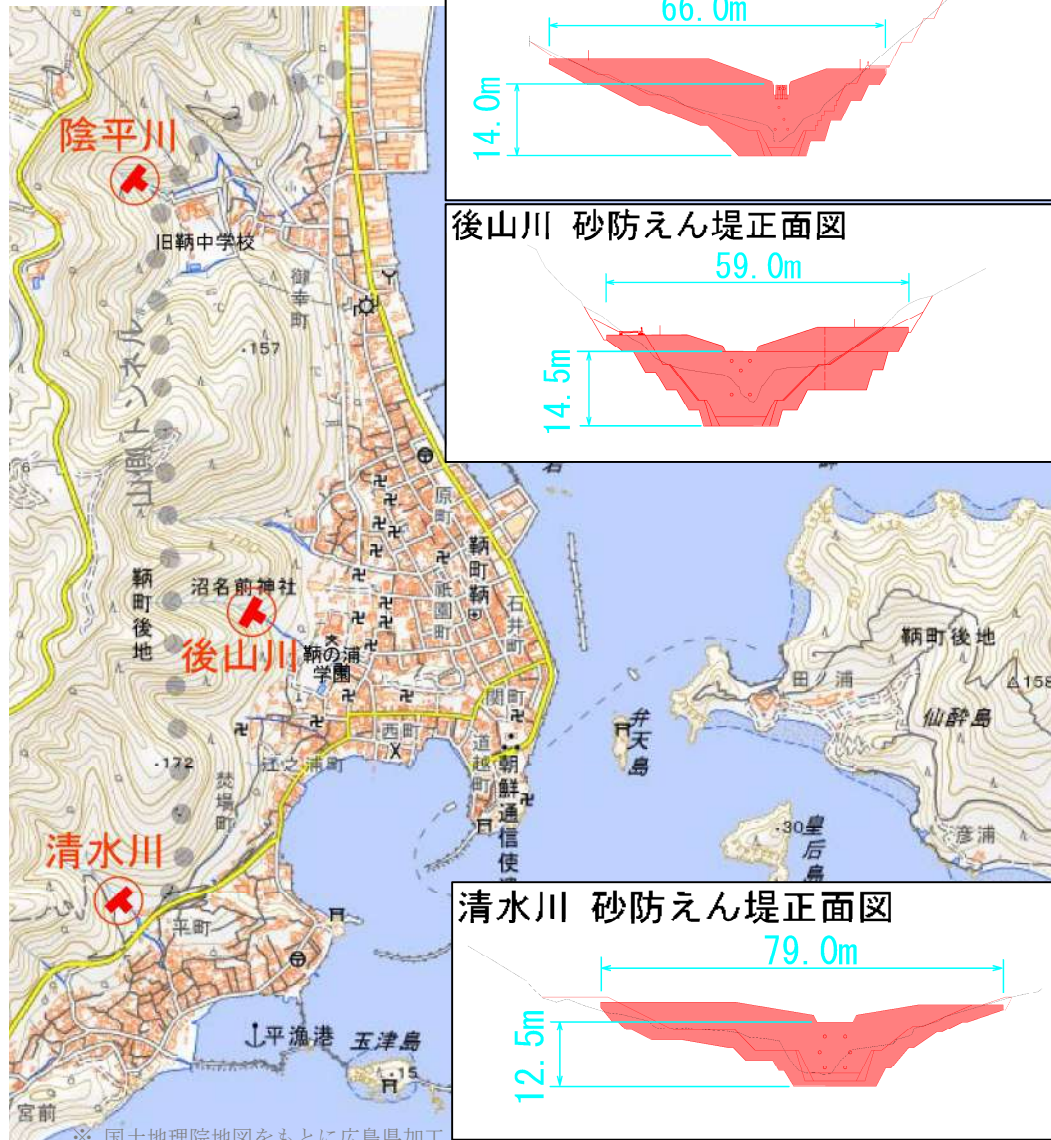


2工区の計画イメージ

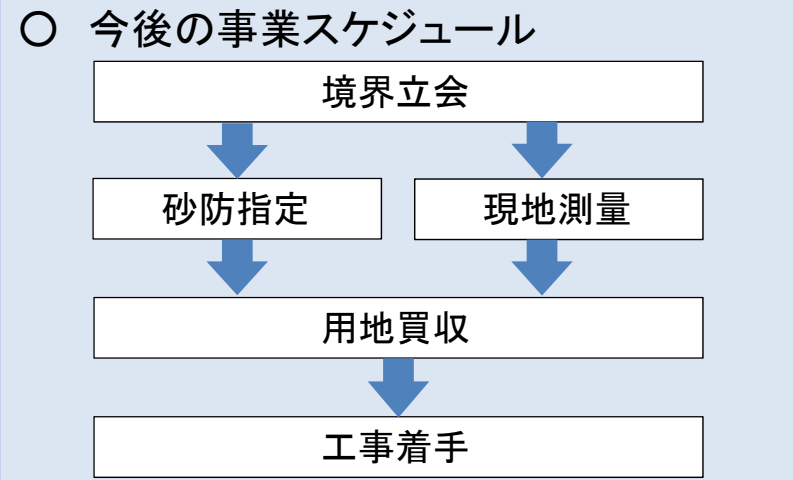
事業スケジュール案	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度以降
1工区【完成】	工事					
2工区			調査・設計等		着手時期の検討	

I -5. 砂防事業[事業の概要]

事業位置図



- 鞆町内の3つの溪流において、砂防事業を実施します。
- 土石流などによる土砂災害から下流の人命や住宅・道路などの生活基盤を守るため、砂防えん堤を整備します。
- 事業を実施する溪流は次の3つです。
 - ・ 陰平川（旧鞆中学校裏）
 - ・ 後山川（鞆の浦学園裏）
 - ・ 清水川（山側トンネル西側坑口付近）



I-5. 砂防事業他 [靱防災広場の概要]【市事業】

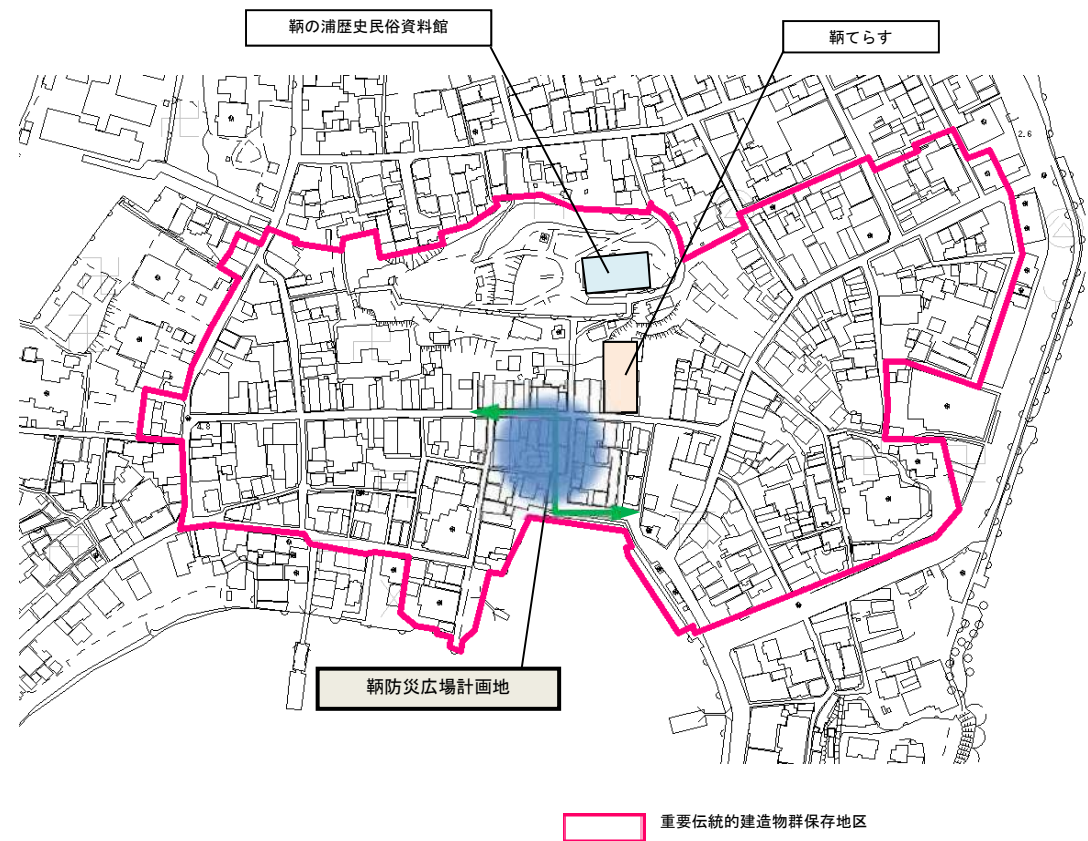
靱町伝統的建造物群保存地区及び周辺は、幹線道路を含め狭い道路、路地を挟んで木造家屋が密集し、公共の空地も少ないことから火災、地震等の災害に対して極めて脆弱です。

靱防災広場は、

- ・密集市街地における火災時の延焼防止及び災害時の一時避難場所
- ・防火・防災の活動拠点及び必要な設備を格納するスペース
- ・緊急時の車両経路の確保
- ・平常時の憩いの場所

として、整備を検討しています。

整備に当たっては、町並みの景観保全と機能確保の両立を図ることとしています。

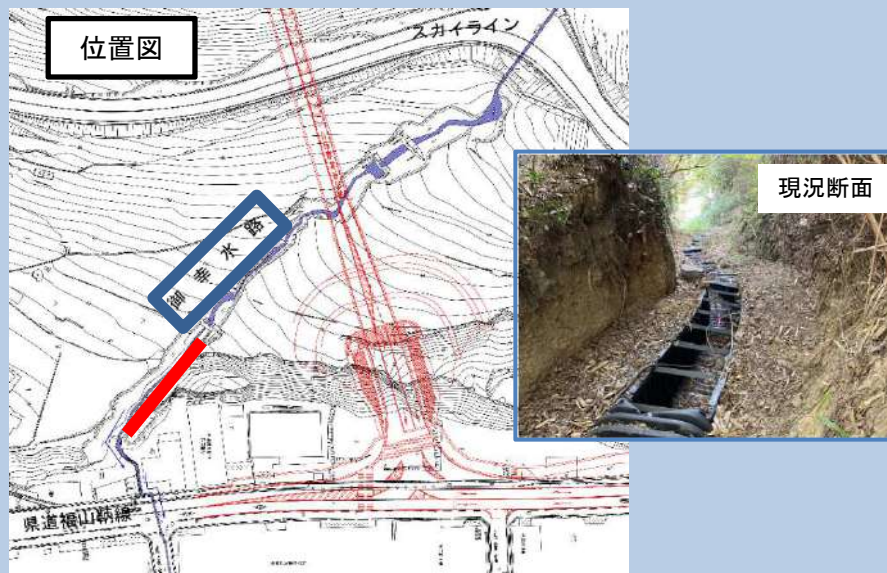


I-5. 砂防事業他 [御幸水路, 明神農道] (県, 市事業)

御幸水路改修工事【市事業】

靱町御幸地区の御幸水路は、山間部から県道福山靱線を暗渠で抜け、海に流れ込んでいます。

大雨時には土砂が暗渠入口付近に堆積し、県道及び周辺部が冠水することから、水路改修工事を実施します。



明神農道改修工事【県, 市事業】

靱町平地区において計画されている西側②拠点(防災拠点)へは、津波や高潮時に海沿いの県道を通って避難することが困難であるため、山沿いを通る明神農道を避難路として整備します。あわせて落石防護柵と水路を設置します。



Ⅱ.「鞆・一口町方衆」応援プロジェクトについて

- 鞆の浦は、新元号『令和』の典拠となった『万葉集』にも歌われ(大伴旅人)、室町時代の幕開けと終焉の地であり、江戸時代には潮待ちの港として商業で発展し、朝鮮通信使の寄港地として、また、坂本龍馬のいろは丸事件の地としてもその名を刻んだ、一千年を超える歴史を持つ港町です。
- 日本で唯一、江戸期の港湾施設が全て現存し、歴史を感じる町並みに囲まれた人々の暮らしの中に港町の伝統文化が息づいている鞆の浦は、平成30年に、「瀬戸の夕凧が包む国内随一の近世港町～セピア色の港町に日常が溶け込む鞆の浦～」として文化庁の日本遺産に認定されました。
- この応援プロジェクトは、こうした鞆の歴史的な景観や町並み、鞆に暮らす人々が受け継ぎ守ってきた伝統文化、人々の暮らしが息づく町並みや風情を未来に継承するため、ふるさと納税制度を活用し、寄附募集を行うものです。

【寄附募集の概要】

項目	内容
目標額	6億円(事務経費を含む) 現在受領額 約4,480万円
募集期間	令和元年から概ね10年間(目標額に達するまで継続)
寄附金の用途	鞆の町並みの保存や歴史的な景観保全に係る取組 ・町並み保存拠点施設の整備【シンボルプロジェクト】 ・伝統的工法による伝統的建造物の保存修理 ・ヘリテージマネージャー(歴史的建造物保存活用資格者)の育成 ・町並み保存団体の活動に対する支援 など 鞆の伝統文化を継承していくための取組 ・伝統行事に使われる用具の修理・修繕 ・歴史的建造物や史跡・寺院の案内板の設置 ・古文書・資料・文献の調査 など

Ⅲ. 関連する取組について[山側トンネルの名称募集]

- 山側トンネルの名称を募集する予定としております。
- 「潮待ちの港 鞆の浦」ならではの親しみやすい素敵な名称をつけてください！
- 募集期間, 応募対象者, 応募方法, 選考・発表など詳細については, 別途, むろのき通信や県のホームページなどでお知らせいたします。

計画イメージ(東側坑口)



計画イメージ(西側坑口)



Ⅲ. 関連する取組について[むろのき通信について]

県及び市では、コロナ禍において、説明会の開催が困難であっても、住民等に情報を提供することを目的に、昨年6月から「むろのき通信」を毎月1回発行しています。「むろのき通信」は鞆町内会連絡協議会を通じ、住民の皆様へ回覧する他、町内会掲示板への張り出しや、県及び市のホームページに掲載しています。引き続き、住民の皆様への丁寧な説明と情報の提供に努めてまいります。

むろのき通信(第1～11号)

掲示板への掲載状況



広島県ホームページ 【 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/217/muronoki.html> 】



福山市ホームページ 【 <https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/kowankasen/> 】

【問い合わせ先】

広島県 東部建設事務所 鞆地区まちづくり推進事業所

電話:084-921-1311(内線2811, 2812, 2813)

担当:楠, 久保, 古本

福山市 建設局 土木部 港湾河川課

電話:084-928-1260

担当:中川, 大西, 松林